

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	徳島県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	徳島県文化遺産総合活性化計画		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>徳島県は少子高齢化・人口減少が加速しており、情報化等の社会環境の変化や人間関係の希薄化等にもなる影響等も危惧されている。そのため、「新未来『創造』とくしま行動計画」（平成27年8月策定 別添資料①）、「いけるよ！徳島行動計画」平成26年度版計画（平成26年3月改訂 別添資料②）、「徳島県教育振興計画（第2期）～阿波っ子みらい教育プラン～」（平成25年3月策定 別添資料③）において、今後10年間の社会情勢の変化を見据えた、文化、教育、観光等をめぐる様々な課題解決に向けた施策を目標としている。</p> <p>その中でも文化遺産の活用については、「東京オリンピック・パラリンピック」を見据えた「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」等の「あわ文化」が息づくまちづくり、伝統文化の継承を担う子どもたちの育成、文化遺産等について触れた学習資料等の作成・配布、「文化教育に関する人財バンク」を活用した人材派遣など、文化財を活かした地域づくり、人材育成の機運が高まっている。</p> <p>そこで、地域の文化遺産を次世代へ継承し、文化遺産を活用した地域活性化をより一層推進する取組を実施する。また、児童・生徒が民俗文化財に触れる機会を作り、これまであまり民俗文化財に関わりのなかった若い世代が、民俗文化財の価値を再認識し、興味・関心を持つことができるようにする。これらのことをとおして、世代や地域の枠を越えて、県内の民俗文化財に対する保護と活用の気風を醸成し、郷土に対する誇りや愛着を育成するとともに、県内外へ積極的な情報発信を行い、県域全体の活性化を図る。具体的には以下に関する事業を行うものとし、事業及び計画の終期を平成31年3月とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 民俗文化財の調査と記録 2. 祭り・行事に必要な用具等の整備 3. 地域住民と外部組織との連携 4. 観光や産業などの分野との連携 5. 伝統文化の普及・啓発におけるソフト面での施策の充実 6. 学校教育との連携 7. 発表の場の提供 8. 文化財の総合的な保存・活用の推進 			
6 実施体制			
<p>徳島県教育委員会教育文化課が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。特に、阿波人形浄瑠璃の振興に係る各補助事業の調整にあたっては、徳島県県民環境部とくしま文化振興課（文化立県とくしま推進会議）と連携して行う。補助事業は、次の団体が実施する。</p> <p>徳島県地域伝統文化総合活性化委員会（委員長：臼杵 一浩） 構成団体は、次のとおり。（平成29年4月現在） 徳島県教育委員会教育文化課、徳島県県民環境部とくしま文化振興課（文化立県とくしま推進会議）、特定非営利活動法人阿波農村舞台の会、公益財団法人徳島県文化振興財団、阿波木偶箱まわし保存会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 104,437 千円	平成29年度申請額： 5,868 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 民俗文化財の調査と記録 技術を伝達する方法や、祭り・行事の運営の方法等、必要な情報を記録することで、現代に対応したやり方で保存・継承を進めていくことが可能となる。また、情報を公開することで、民俗文化財の普及啓発を図ることができる。防災カルテの作成については、南海トラフの巨大地震等の大規模災害発生時に備えて、文化財所有者に対して、協力依頼文書の発送、調査員からの説明、研修会への参加呼びかけ等により、文化財防災意識を高めることができる。 2. 祭り・行事に必要な用具等の整備 「箱まわし」は、一人で4体の衣装人形を遣うため、数多くの衣装人形を必要とする。衣装人形の修繕事業により、人形の充実が図られることは「箱まわし」の伝統的な操作を継承することに繋がる。また、伝承教室等で次世代の箱まわしジュニアチームが体験する演目も増え、効果的な技術伝承が可能となる。さらに、徳島県における阿波木偶制作の伝統工法が継承されるなど、阿波木偶制作技術の向上にも貢献が期待できる。 3. 地域住民と外部組織との連携 事業において、人材の確保や運営のノウハウ、専門的知識・技術を有したNPO法人等の民間団体、教育機関、企業等と連携することで、伝統文化による地域活性化が期待できる。具体的には、養成講座を修了した文化財マイスターによる文化財建造物の保存修理の設計や施工、文化財所有者の日常管理や耐震、防災対策等についてのアドバイス、歴史的建造物やまちなみ景観保存のプランニング、文化遺産を活かした地域活性化につながる企画運営、文化遺産の保護・活用についての周知、専門的な知識・技術を生かした文化財の次世代継承やまちなみ景観創造等が可能になる。防災カルテについては、県立埋蔵文化財総合センター、鳥取県教育委員会に保管を依頼することで、大規模災害発生時は、文化財レスキューのため相互協力を図ることができる。 			

4. 観光や産業などの分野との連携

伝統文化を活かしたまちづくり・地域おこしを行うことで、他地域との交流を進め、新たな観光資源の創出につなげることができる。また、モニタリングツアーを実施し、継続していくことで、徳島の文化ツーリズムの定着と、地域の活性化に寄与することができる。

5. 伝統文化の普及・啓発におけるソフト面での施策の充実

展示やワークショップ、イベントや発表会など、県民が文化に直接接する機会を増やすことで、県民の伝統文化への関心を高め、理解を深めることが期待できる。また、地域に対する誇りやアイデンティティを育むことができる。人材育成では、無形民俗文化財の保護団体の技術を向上させることで、観客の満足度を高めるとともに、ひいては後継者の確保にもつながる。また、無形民俗文化財の文化的価値が高まる事によって、地域のにぎわいや活性化が促進され、徳島県の観光資源としての魅力が高まる。

6. 学校教育との連携

教員への情報提供や体験学習の機会を設けるなど、学校現場と協力することで、子供たちが伝統文化や文化財に親しむ機会を増加させることができる。また、地域の伝統文化に対する子供たちの理解を深め、地域社会への誇りや愛着を育てることに繋がる。

7. 発表の場の提供

伝統文化の保存・活用を進めるにあたっては、地域住民の理解と協力が不可欠である。展示やワークショップ、イベントや発表会など、県民が文化に直接接する機会を増やすことで、伝統文化への関心を高めることができるだけでなく、地域に対する誇りやアイデンティティを育むことができる。また、参加した保存会等にとっては、メンバーの意識高揚や日頃の活動を地域外へ周知することができるだけでなく、練習の成果を確認、反省する材料になる。

8. 文化財の総合的な保存・活用の推進

祭り・行事を含む無形民俗文化財を、周辺の地域の文化財と関連づけながら総合的に捉え、その活用を図る取り組み（モニタリングツアー等）をとおして、継承の担い手の育成や、まちづくり・地域の活性化につながることを期待できる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	「三番叟まわし」に取り組む20余名の中学生（箱まわしジュニアチーム）への伝承活動。
事業概要：	平成27年度実施した「じょうりクルーズ」は、利用者の受益者負担により、市内文化観光ツアーとして継続する。
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

--	--

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	徳島県教育委員会教育文化課
-----------------	---------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数			関連事業 :	②, ③, ⑤, ⑨, ⑩, ⑫, ⑬, ⑮, ⑯	
目標値 1 :	平成 25 年度 25,800 人		⇒	平成 30 年度 30,000 人		
設定根拠 1 :	平成 25 年度比から 15% 以上の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
26,412 人	26,436 人	28,494 人	人	人	人	
15%	15%	64%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	文化財マイスター修了者が関わった文化財調査及び修理・保存活用等のアドバイス等の件数			関連事業 :	⑧, ⑭	
目標値 2 :	平成 25 年度 0 件 (延べ)		⇒	平成 30 年度 15 件 (延べ)		
設定根拠 2 :	修了者の人数から年 3 件平均として設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
5 件 (延べ)	10 件 (延べ)	18 件 (延べ)	件 (延べ)	件 (延べ)	件 (延べ)	
33%	67%	100%				
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	阿波木偶箱まわし保存会の会員数			関連事業 :	⑥, ⑦	
目標値 3 :	平成 25 年度 15 人		⇒	平成 30 年度 20 名		
設定根拠 3 :	伝承教室で指導した高校生・大学生・社会人の中で、保存会に加入できる見込み数から設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
17 人	17 人	18 人	人	人	人	
40%	40%	60%				
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	阿波木偶箱まわし保存会による門付け件数			関連事業 :	⑥, ⑦	
目標値 4 :	平成 25 年度 928 件		⇒	平成 30 年度 1,100 件		
設定根拠 4 :	「三番叟まわし」門付け依頼の平成 25 年度までの比から設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
956 件	990 件	992 (延べ)	(延べ)	(延べ)	(延べ)	
16%	36%	37%				

目標区分 5 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 5 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	修繕した衣装人形を農村舞台公演や県の観光イベントで使用したり, 展示する	関連事業 :	⑥, ⑦			
目標値 5 :	平成 25 年度	40 公演	⇒	平成 30 年度	65 公演	
設定根拠 5 :	伝承教室や学校での体験学習, 社会人向けの阿波木偶「箱まわし」紹介事業の実績比から設定					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
40 公演	45 公演	48 公演	公演	公演	公演	公演
0%	20%	32%				
目標区分 6 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 6 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 6 :	農村舞台における阿波人形浄瑠璃の公演数	関連事業 :	②, ③, ⑤, ⑨, ⑩, ⑫, ⑬, ⑮, ⑯			
目標値 6 :	平成 25 年度	10 回 (年)	⇒	平成 30 年度	10 回 (年)	
設定根拠 6 :	徳島県の人口社会減の状況から, 現状維持を設定					
進捗状況 6 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
13 回 (年)	12 回 (年)	13 回 (年)	回 (年)	回 (年)	回 (年)	回 (年)
100%	100%	100%				
目標区分 7 :	その他					
評価指標区分 7 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 7 :	平成 25 年度事業以降に使用したプログラムや事業手法を市町村教育委員会, 学校等で活用した件数, 及び各地のボランティアガイドが観光案内した実働件数の合計	関連事業 :	①			
目標値 7 :	平成 25 年度	0 回 (年)	⇒	平成 30 年度	750 回 (年)	
設定根拠 7 :	平成 28 年度実績から設定					
進捗状況 7 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
10 回 (年)	20 回 (年)	516 回 (年)	回 (年)	回 (年)	回 (年)	回 (年)
1%	3%	69%				
目標区分 8 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 8 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 8 :	徳島県の観光入込客数	関連事業 :	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑦, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑮, ⑯			
目標値 8 :	平成 25 年度	19,644 千人	⇒	平成 30 年度	23,000 千人	
設定根拠 8 :	徳島県観光振興基本計画 (第 2 期) の数値目標から設定					
進捗状況 8 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
19,751 千人	19,900 千人	集計中 千人	千人	千人	千人	千人
3%	8%					

目標区分 9 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 9 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 9 :	防災カルテ延べ136件(個人所有の有形文化財, 有形民俗文化財)に基づき, 毎年文化財パトロールを行い, 防災及び管理について注意喚起を行う。	関連事業:	⑭		
目標値 9 :	平成 25 年度 0 件 ⇒ 平成 30 年度 136 件				
設定根拠 9 :	防災カルテ作成の件数に基づく				
進捗状況 9 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
135 件	136 件	136 件	件	件	件
99%	100%	100%			

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	「阿波の文化遺産」公開活用事業					実施団体：	徳島県教育委員会教育文化課								
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度								
事業概要：	徳島県内の文化遺産を巡るモニタリングツアーを行い、阿波文化遺産の普及活動に資する。小・中学生の地域学習や県民の生涯学習の歴史実物教材として検証するため、一般県民及び教員・文化財マイスターなど学識経験者に参加を呼びかける。														
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)									
具体的な指標：	平成 25 年度事業以降に使用したプログラムや事業手法を市町村教育委員会、学校等で活用した件数、及び各地のボランティアガイドが観光案内した実働件数の合計。														
目標値：	平成 25 年度					0 回 (年)			⇒			平成 30 年度		750 回 (年)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率														
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度										
10 回 (年)	20 回 (年)	516 回 (年)													
1%	3%	69%													
事業②：	人形浄瑠璃鑑賞講座					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会								
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度								
事業概要：	物語の概要や見どころ、聞きどころを公演前にしっかりとレクチャーした上で、公演を鑑賞してもらうことにより、人形浄瑠璃の奥行きを知ってもらう。														
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)									
具体的な指標：	徳島県の人形浄瑠璃の拠点施設として毎日 2 回の定期公演と、随時イベントや鑑賞講座等を実施している徳島県立阿波十郎兵衛屋敷において、年間を通じて実施している来館者アンケートの数値を指標にする。人形浄瑠璃の理解度を問う設問の回答で、「よくわかった」という回答率を 2 割以上アップさせる。														
目標値：	平成 27 年度					55 %			⇒			平成 30 年度		66 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率														
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度										
%	55 %	62 %													
	0%	65%													
事業③：	藍染め講座					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会								
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 30 年度								
事業概要：	阿波藍の伝統的な手法による染めの魅力を伝えるとともに、吉野川～阿波藍、阿波人形浄瑠璃とつながる徳島県の近世文化史をPRすることにより、徳島県の人形浄瑠璃の拠点施設の入館者増を図る。天然素材を使った物作りに共通する美しさを学ぶことにより、伝統文化に対する関心を高める。														
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)									
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の入館者														
目標値：	平成 25 年度					25,800 人			⇒			平成 30 年度		30,000 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率														
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度										
26,412 人	26,436 人	28,494 人													
15%	15%	64%													

事業④：	映像記録事業「阿波の民俗」	実施団体：	公益財団法人徳島県文化振興財団			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	徳島県指定無形民俗文化財から記録対象を1件取り上げる。祭礼に関わる人々の声を取り上げるなど、地域の住民と共にある祭礼の姿を記録するように努める。また、ホームページ上での発信を核とすることから、短縮版（10～15分）も作成し、広く活用する。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	ホームページに掲載した映像記録集のカウント数					
目標値：	平成 27 年度 0 回		⇒		平成 30 年度 3,000 回	
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
0 回	0 回	0 回	回	回	回	
	0%	0%				
事業⑤：	阿波人形浄瑠璃人材育成事業	実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	元文楽技芸員を講師に招き、人形遣いの動作の基本や上手に見せるための傾向と対策、より感情を出すためのテクニックなどについて学ぶことで、各人形座のレベルアップを図り、阿波人形浄瑠璃のファンを増やす。					
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	徳島県の人形浄瑠璃の拠点施設として毎日2回の定期公演と、随時イベントや鑑賞講座等を実施している徳島県立阿波十郎兵衛屋敷において、年間を通じて実施している来館者アンケートの数値を指標にする。人形浄瑠璃の理解度を問う設問の回答で、「よくわかった」という回答率を2割以上アップさせる。					
目標値：	平成 27 年度 55 %		⇒		平成 30 年度 66 %	
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
%	55 %	62 %	%	%	%	
	0%	65%				
事業⑥：	「阿波木偶箱まわし」伝承推進事業	実施団体：	阿波木偶箱まわし保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	阿波木偶箱まわし保存会会員のスキルアップを図ることと、上演演目を増やすための技術習得。一人遣いの人形の操作技術指導に八王子車人形五代目家元西川古柳氏を、浄瑠璃語りの指導に竹本友和嘉、豊澤町若両氏を、三味線指導に板東正浩氏を招聘する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	保存会会員を毎年増やしていく。					
目標値：	平成 25 年度 15 人		⇒		平成 30 年度 20 人	
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
17 人	17 人	18 人	人	人	人	
40%	40%	60%				

事業⑦：	「阿波木偶箱まわし」伝承推進事業					実施団体：	阿波木偶箱まわし保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	次世代への伝承活動を実施するとともに、上演演目を増やすために衣装人形の整備・修繕を行う。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	修繕した衣装人形を農村舞台公演や県の観光イベントで使用したり、展示する。										
目標値：	平成 25 年度		40 公演		⇒	平成 30 年度		65 公演			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
40 公演	45 公演	48 公演									
0%	20%	32%									
事業⑧：	徳島県ヘリテージマネージャー養成講座（文化財マイスター養成講座）					実施団体：	徳島県教育委員会教育文化課				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度				
事業概要：	徳島県内在住の建築有資格者を対象に歴史的建造物や文化財保護についての専門的な講義や演習等を実施し、県内の文化財建造物の調査・修理・まちづくり等に参画できる専門技術者を養成した。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	文化財マイスター修了者が関わった文化財調査及び修理・保存活用等のアドバイス等の件数										
目標値：	平成 26 年度		0 件 (延べ)		⇒	平成 30 年度		15 件 (延べ)			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
5 件 (延べ)	10 件 (延べ)	18 件 (延べ)									
33%	67%	100%									
事業⑨：	阿波人形浄瑠璃の魅力を伝えるホームページ作成事業					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度				
事業概要：	人形浄瑠璃を継承する座や人形芝居のための農村舞台の紹介，江戸時代から続く座等の練習風景，後継者となる学校民芸部や農村舞台における公演等の動画を作成する。その際，阿波藍や吉野川との関わりを交えて徳島の伝統文化と阿波人形浄瑠璃の魅力を発信する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数										
目標値：	平成 25 年度		25,800 人		⇒	平成 30 年度		30,000 人			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
26,412 人	26,436 人	28,494 人									
15%	15%	64%									

事業⑩：	人形浄瑠璃の外題おもしろ解説本発行					実施団体：	とくしま文化振興課				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 26 年度 ~ 平成 26 年度				
事業概要：	人形浄瑠璃の魅力を広い世代に伝えるため、人形浄瑠璃で演じられる物語「外題」の解説本を発行した。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数										
目標値：	平成 25 年度		25,800 人		⇒		平成 30 年度		30,000 人		
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
26,412 人	26,436 人	28,494 人	人	人	人						
15%	15%	64%									
事業⑪：	「あわ民俗芸能フォーラム」公開活用事業					実施団体：	徳島県教育委員会教育文化課				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度				
事業概要：	阿波人形浄瑠璃等, 徳島県の伝統芸能を上演した。また, シンポジウム・ワークショップ等として伝統文化の保存と伝承活動の重要性を啓発する取り組みを実施した。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県の観光入込客数										
目標値：	平成 26 年度		19,644 千人		⇒		平成 30 年度		23,000 千人		
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
19,751 千人	19,900 千人	集計中 千人	千人	千人	千人						
3%	8%										
事業⑫：	人形じょうり 徳島の美学					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ~ 平成 26 年度				
事業概要：	各団体の特色ある活動を順次紹介し, 奥行きのある徳島の人形文化に触れる機会をつくることにより, 阿波人形浄瑠璃の振興を図ることを目的とする。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数										
目標値：	平成 25 年度		25,800 人		⇒		平成 30 年度		30,000 人		
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
26,412 人	26,436 人	28,494 人	人	人	人						
15%	15%	64%									

事業⑬：	素浄瑠璃公演開催事業					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 26 年度				
事業概要：	日本独自の「語り音楽」である素浄瑠璃の魅力をじっくりと味わってもらい、上演外題のあらずじや聞き所、鑑賞のポイントなどを、わかりやすく解説した後、実際の演奏を楽しんでもらうことにより、阿波人形浄瑠璃の振興を図る。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数										
目標値：	平成 25 年度		25,800 人		⇒	平成 30 年度		30,000 人			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
26,412 人	26,436 人	28,494 人									
15%	15%	64%									
事業⑭：	徳島県内指定文化財防災カルテ作成事業					実施団体：	徳島県教育委員会教育文化課				
事業区分：	その他					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 27 年度				
事業概要：	南海トラフの巨大地震等の災害に見舞われた場合，県・市町村担当職員，必要により鳥取県等の応援職員が国指定・県指定等文化財の被害状況を確認し，応急措置や復旧計画の作成を行うことを想定して防災カルテを作成する。										
評価指標区分：	その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	作成した防災カルテ延べ136件に基づき，毎年文化財パトロールを行う。										
目標値：	平成 25 年度		0 件		⇒	平成 30 年度		136 件			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
135 件	136 件	136 件									
99%	100%										
事業⑮：	徳島じょうりクルーズ					実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 27 年度				
事業概要：	阿波藍の経済力を背景に発展した阿波人形浄瑠璃について，阿波十郎兵衛屋敷を拠点にクルーズで各地をまわりながら吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃とつながる徳島の文化史を参加者に学んでもらう。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷入場者数										
目標値：	平成 25 年度		25,800 人		⇒	平成 30 年度		30,000 人			
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
26,412 人	26,436 人	28,494 人									
15%	15%	64%									

事業⑩：	阿波人形浄瑠璃 I N阿波農村舞台		実施団体：	特定非営利活動法人阿波農村舞台の会		
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 28 年度		
事業概要：	阿波人形浄瑠璃の原点とも言える農村舞台での公演を，地域のイメージアップや観光資源として活用するため，農村舞台の周辺にある宿泊施設（ゲストハウス，温泉宿泊施設，農家民宿など）との連携のもと，現在遣われていない農村舞台で，ロケーションに恵まれた舞台の復活を図る。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	農村舞台における阿波人形浄瑠璃の公演数					
目標値：	平成 25 年度		10 回 (年)		⇒ 平成 30 年度 10 回 (年)	
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
13 回 (年)	12 回 (年)	13 回 (年)	回 (年)	回 (年)	回 (年)	
100%	100%	100%				